WEEKLY BULLETIN 丸岡ロータリークラブ会報

1230号

R.IDISTRICT 2650
ROTARY CLUB OF MARUOKA

会長 小見山 修　幹事 石橋 正一
創立 昭和53年3月2日　承認 昭和53年4月6日(No.14497)

本日の例会

第 1231回 例会

平成 15年 2月 19日(水)

会員卓話　塚田会員

「物流について」

次の例会案内

第 1232回 例会

平成 15年 2月 26日(水)

ロータリー情報集会発表

── 先週の例会（第1230回）報告 ──　平成 15年 2月 12日(水)　開会点鐘 12：30

ロータリーソング
「我等の生業」

会長報告

会長報告

今日はSA岩崎さん、副SAAの野尻さんが急遽欠席のため、直前の高嶋さんにお願いしましたので宜しくお願いします。

田畑の雪は消えましたがまだ北風は冷たく、春遠からじといった感じですが、体には気をつけ風邪等ひかないよう注意していただきたい。

本日の人生訓は「花枝自短長」という歌を送りたいと思います。 2月の梅の香りを聞きながらの茶会などでよく詠われる歌です。一面の花に差別はないが花の枝には自ずから長短があるが、その長短があることにより全体に整った姿ができ、平等と差別、それらが見事に調和した世界という意味です。

幹事が事務局へ行っておりますので、委員会報告を先にお願いします。

ビチヤイ・ラタクル
2002－03年度国際ロータリー会長

地区スローガン

『常に心して、
歩いた後に
平和の花を
咲かせましょう』

Always Remember in Your Heart
To Nourish the Flowers of Peace
on Your Passing

RI第2650地区ガバナー 岡 村 吾 郎

幹事報告［来信］

若狭ＲＣより…

＊第 114回福井県下ＲＣ　会長・幹事会案内（2/25）
於：サンホテルやまね

福井東ＲＣより…

＊中日、日刊県民福井新聞「ミャンマーをみる」
5回シリーズ新聞

丸岡町より…

＊「第 35回古城祭り準備委員会」開催について（ 2/20）
於：霞の郷

委員会報告

情報委員会　山岸委員長

机上の資料通りの班編成で情報集会を行ないます。テーマは「ロータリーの変わって良い事、ロータリーの変わって悪い事、又どうあるべきか」です。今回は在籍中のチャーターメンバー 5名にリーダーになっていただき、創立時からのこれまでの変化を含め、30分ほど早く開会していただき、あとに入会した人にお話していただきたいと思います。記録発表者の方は 2月 26日の例会で発表していただきますのでご苦労様ですが宜しくお願います。参加者一人当り 1,000円の補助を出します。

会計　増澤委員長

2002年から 2003年の中間決算を報告させていただきます。まず、お詫びですが机上の資料に期日の記入されておりませんが、昨年 12月末現在のものです。また支出分をすべて計上しております。会費収入は 42名の 9万円で 378万円、後期の 459万円は 47名分の予算とニコニコ箱はほぼ半期で予算の半分ですが、収入全体では年度予算の半額に至っておりませんので、皆様の後期の協力をお願いします。支出の方は、ロータリー財団寄付金は 0となっておりますが今期中に納付すれば良いためまだ計上しておりません。また、退会者が多いため後半は大変厳しい決算が予想されます。（質問応談するが質問なし）

親睦委員会　中山副委員長

今月の祝辞は、会員の誕生日、結婚記念日はありません。夫人の誕生日は山岸、藤本、本田、北、竹澤　以上 5名の方々です。おめでとうございます。

県内クラブ例会日

── 月曜日 ──	── 火曜日 ──	── 水曜日 ──	── 木曜日 ──	── 金曜日 ──
福井東　高　砂　殿	福井南　繊協ビル８階 勝　山　勝山商工会議所 武　生　武生商工会館 若　狭　小浜商工会館 PM6:30　福井フェニックス ワシントンホテル	福井北　ワシントンホテル 敦　賀　北陸銀行敦賀支店 鯖江北　鯖江神明公民館 丸　岡　ＪＡ花咲ふくい 丸岡ふれあいセンター	福　井　ユアーズホテル 武生府中　武生市農協会館	福井西　平　安　閣 三　国　三国観光ホテル 大　野　ＮＴＴ大野支店 鯖　江　鯖江商工会館４階 福　井　国際交流会館 あじさい

四つのテスト　(日) 真実かどうか　(月) みんなに公平か　(火) 好意と友情を深めるか　(水) みんなのためになるかどうか

卓話「ミャンマー小学校落成式に参加して」

中島会員

私がミャンマーへ行こうと思ったのは、まず国際ロータリー会長の「自愛の種を播きましょう」に相応しい事業ではないかと感じたこと、それと私の兄が主に福井県内出身者で編成された歩兵 119連隊の 3,700人のうち 3,000人が亡くなった旧ビルマでの戦争に参加し、生き残った 700人の一人であったことが理由だった。

ミャンマーはタイとインドの中間に位置し、以前はビルマと呼ばれており、面積は日本の 1.8倍、気候は 11月から 3月は乾季で月に 1～ 2mmしか雨が降りませんが、 4月から 10月は雨季で特に 5,6,7月は月に 600mmを超す雨量で、川幅が 3倍以上に広くなり、これが日本軍の敗因とも言われている。

旅程は 14日朝関西空港を飛び立ち、バンコクで飛行機を乗り換え、首都のヤンゴンへ 7時ごろ到着し 1泊した。翌日は朝 3時半に起床し、 4時半にホテルを出発し飛行機でサガインと言う町の手前のマンダレーに 6時に到着した。そこからはサガインまでは、旧イギリスの植民地に作られたと言う 3車線の立派な道路が通っていたが、舗装から 40年を経過しており、道路はひどく傷んでいた。サガインから今回の小学校までは車が通るような道路がなく、牛車で約 2キロ進んで小学校へ到着し、ここで小学校の引渡し式に参加した。

この近くには昨年 2650地区の寄付で建てた小学校があるが、地区の建てた小学校はすべて寄付で建てたが、今回、県内ＲＣの寄付で建てたこの小学校地元の村民も協力して建てたとの事だった。教室が 2つ、あとは職員室のような部屋が 1つ程度の建物だが、周辺の住宅と比べると、それは比較できないくらい立派で際立った建物だった。引渡し式は電気がないため、持ちこんだ発電機でスピーカーを使い、約 50名の子供一人一人にノートや鉛筆を配った。この日も気温が 25度くらいあり約 3時間、子供達を外で立たせたままの式典だったが倒れるような子は一人もいなかった。この小学校には 4人の先生がおり、子供のいじめはないかと質問したところ、いじめるような子は回りの子供が抑えるのでいじめはないとのことだった。ミャンマーの教育制度は小学校 5年、中学校 4年、高校 3年となっているが、学校までは 30分から 1時間かかり、少し大きくなると農作業の働き手となるため地域の子供が全員学校へ来ないらしく、高校まではほとんど行かず、軍事政権下であることから、高校の学力によって行く大学が政府により決められ、大学卒業後の就職もすべて政府によって決められ、学力上位者は医者になるなど個人の自由はない。しかし引渡し式で文房具などを受け取った子供達の目は爛々と輝き、日本の子供達より生き生きとした印象を受けた。

その日はマンダレーに泊まり、翌日は旧日本軍が作った飛行場のあるヘホと町へ行き、昨年、 2650地区の会員が一人 1,000円を集めて寄付した小学校へ行った。こちらの建物は規模も大きく立派だった。そのあとヤンゴンへ戻りお別れパーティに参加したが、この席にはミャンマーでは地位が高い、日本で言うと局長級の役人や医者も 5名も参加していた。

子供達にはノートや鉛筆の他、鉛筆削りも電動式ではなく手回しのものを寄付し、教科書も 4,5箱配ったが紙の質が今までとは違い手がすべることや、ミャンマーの学校ではほとんど教科書やノートがなく、それまでは先生が黒板に書いたものをそのまま覚えていたというのが印象的だった。

ミャンマーには約 135種の民族がいて部族、民族間の対立が多く軍事政権もやむを得ない状況で外交も閉鎖的だったが、 5年ほど前より外貨不足を補うため外国人観光客の誘致にも力を入れ出しはじめ、入国の際必ず 200ドルを現地通貨に両替することが義務付けられているが、物価も安いこともあり 200ドル分を使い切れなかった。現地では平均月収が 1,500円程度、産業はほとんどが農業主体で、米は三毛作で輸出もしているが、現地では米 1俵が約 2,000円で国民の生活も相当苦しい。以前に 200万円の建物を寄付した団体がいたが、日本では 1億円近くの建物が建ったという感覚であるらしい。

今回の様子については 2月 15日テレビで放映されるので是非見ていただきたい。また今日配布した新聞記事も呼んでいただきたい。これを契機にミャンマーとの交流が深まることを期待したい。

ニコニコ箱

小見山会長、藤本君、東君、本田君、増澤君、中山君
西野君、奥村君、下田君、高本君、高嶋君、中島君
竹澤君、山岸君
林田恒正君、金君
横山君

本日の合計	35,000円
前回迄の合計	1,235,000円
本日迄の累計	1,270,000円
前年度との比較	1,411,000円

ロータリー財団特別寄付

小見山会長、金君、中島君、下田君、高嶋君、竹澤君

本日 6件	計 13,000円
本年度累計	352,000円

ロータリー財団ベネファクター積金

本日 0件	計 0円
本年度累計	70,000円

米山奨学会特別寄付

小見山会長、金君、下田君、高嶋君

本日 4件	計 8,000円
本年度累計	259,000円

■ 出席 ■

本クラブの各会員はクラブ例会に出席しなければならない。会員は、本クラブの例会に出席したものとみなされるには、例会に充当された時間の少なくとも 60パーセントに出席するか、または、次のような方法で欠席をメークアップしなければならない。

本クラブの例会に定例の時の前 14日または後 14日以内に、他のロータリー・クラブまたは仮クラブの例会に充当された時間の少なくとも 60パーセントに出席すること。

出席報告

1227回例会	会員数	当日出席者数	Make up	出席率
例会日 1/22	42	35	5	95.24%

■ 終結 ── 欠席 ■

(日)　ロータリー年度の各半期間において、メークアップを含むクラブ例会出席率が少なくとも 60パーセントに達していなければならない。
(月)　ロータリー年度の各半期間に開かれた所属クラブの例会総数のうち少なくともその 30パーセントに出席しなければならない。
(火)　連続 4回例会に出席せず、またメークアップもしていない場合、自動的に終結するものとする。

例会変更受付のみクラブ名

事務局　〒910-0254福井県坂井郡丸岡町一本田 34-7
ＪＡ花咲ふくい丸岡ふれあいセンター内
TEL(0776 67-0410／FAX(0776 67-4811
例会場　ＪＡ花咲ふくい丸岡ふれあいセンター３Ｆ

例会日　毎週　水曜日　12時 30分　会員数　年度初　41名
会報委員長　林田千之　副委員長　南出辰男
委員　川中晃一・中山敏夫・奥村雅徳・塚田修一
山下健治・